

産学連携

産学官連携ポリシー

東北大学は、建学以来、「研究第一主義」「門戸開放」「実学尊重」の理念を掲げ、世界トップレベルの研究・教育を創造してきました。また、研究成果は社会の直面する諸課題の解決に応えるとともに、社会の指導的人材を育成することで、人類社会の平和と繁栄に貢献してきました。東北大学は100年の歴史の中で継承してきた知の蓄積と、次の100年に向けて、絶えざる研究・教育の創造を通じ、人類社会に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指しています。

また、東北大学は「世界と地域に開かれた大学」の方針の下、大学の人的・知的資源及び総合力と地域や国際社会との連携により、人類社会全体の発展に貢献します。その一つであります産学官連携は、教育・研究に次ぐ大学の第3の使命である社会貢献の中核を成し、知の成果の社会還元を果たす要素として重要であり、大学として、以下の産学官連携ポリシーに基づき、積極的に取り組みます。

1. 建学以来の「実学尊重」の伝統と実践を礎に、学術成果を広く社会に還元すべく、産業界への技術移転を推進し、本学における教育と研究の社会的付加価値を高めます。
2. 国際的な産学官連携においては、技術移転や共同研究等に止まらず、世界をリードする技術革新を導く研究を推進します。
3. 地域が抱える諸課題の解決に向けた持続的な産学官連携を進め、地域イノベーションの原動力となることを目指し、我が国の経済・社会の発展に貢献します。
4. 大学に産学官連携を推進するための組織をおき、学内リソースの結集と国内外関係機関との連携により、国際的な視点に立って産学官連携活動を進めます。
5. 産学官連携を推進するにあたり、透明性を確保し、国内外の法令や国際間の条約等を遵守するなどの社会的説明責任を果たすことを基本とします。

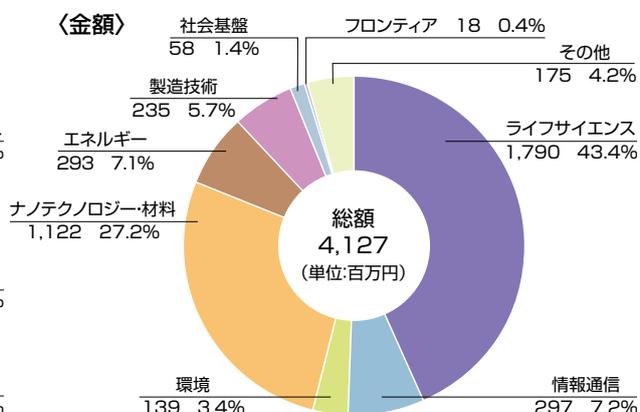
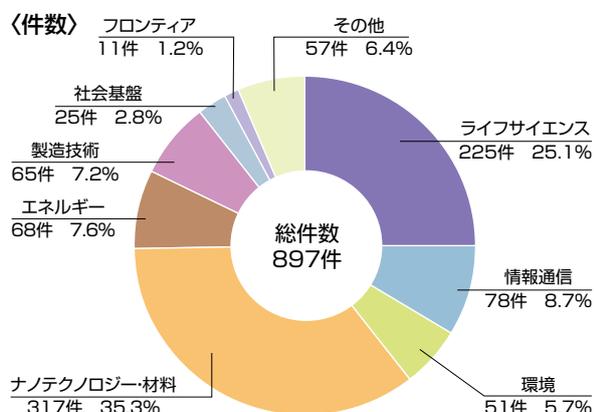
民間等との共同研究実施状況の推移

年度	受入件数(件)	受入金額(単位:百万円)
平成15年度	284	1,129
平成16年度	392	1,675
平成17年度	479	1,827
平成18年度	519	2,028
平成19年度	698	2,086
平成20年度	786	2,459
平成21年度	837	2,692
平成22年度	854	2,956
平成23年度	862	2,840
平成24年度	831	3,084
平成25年度	897	4,127

受託研究の受入状況の推移

年度	受入件数(件)	受入金額(単位:百万円)
平成15年度	373	3,450
平成16年度	456	6,149
平成17年度	483	7,358
平成18年度	591	7,927
平成19年度	554	9,101
平成20年度	596	9,131
平成21年度	611	9,563
平成22年度	589	10,008
平成23年度	742	11,397
平成24年度	666	9,587
平成25年度	661	9,216

平成25年度 民間等との共同研究実施状況



※文部科学省産学連携等実施状況調査による区分

産学連携

組織的連携

本学では、研究開発、人材育成、地域社会への責任、など相互の協力が可能な全ての分野において、大学全体として民間企業等と組織的連携を行い、具体的な協力を有機的に推進しています。

協定締結日	民間企業等名称	目的
平成18年1月19日	(株)日立製作所	電気、情報、材料、機械分野における共同研究や相互交流を目指す。
平成18年1月31日 平成26年2月20日改訂	産業技術総合研究所	環境、材料、情報通信、エレクトロニクス分野等における共同研究を目指す。平成26年2月に東日本大震災からの復興・再生を目指した産学官連携・協力に関して、改訂及び下部協定を締結。
平成18年2月21日	放射線医学総合研究所	PET（陽電子断層撮像法）を利用した分子イメージング研究の高度専門人材育成を目指す。
平成18年7月27日	セイコーエプソン（株）	共同研究の推進、研究者の相互交流、教育及び人材の育成、留学生への奨学金支援業務及び国際交流助成を目指す。
平成18年12月26日 平成23年12月26日	(株)河北新報	共同研究・調査、イベント共催・協力、人材育成などの面での協力を軸に、教育・研究機能と、報道・情報発信機能を連携させることを目指す。
平成19年1月31日	(株)七十七銀行	東北大学発ベンチャー企業に関する情報交換・支援、東北大学シーズと地域企業とのマッチングコーディネート、技術相談、相互人材交流を目指す。
平成19年3月6日	DOWAホールディングス（株）	共同研究の推進、研究者の相互交流、若手研究者の育成、研究施設、研究設備の相互利用を目指す。
平成19年8月3日	宇宙航空研究開発機構（JAXA）	宇宙及び航空科学分野を中心に、生命科学など他分野を含めた共同研究や教育・人材育成を目指す。
平成20年7月25日	実験動物中央研究所	ライフサイエンス分野、生命科学、材料科学並びに心理学、社会科学など相互協力が可能な全ての分野での共同研究、人材の教育・交流を目指す。
平成21年2月19日	高エネルギー加速器研究機構（KEK）	素粒子原子核物理、物質生命科学、加速器科学の研究領域における共同研究のさらなる深化、共同研究体制の強化、人材の教育・交流を目指す。
平成21年3月9日	核融合科学研究所	核融合炉に関する研究の更なる推進、人材の教育・交流を目指す。
平成21年4月14日	理化学研究所	理論と実験、計算科学と計算機科学の融合など、広範な学術領域の開拓を図り、計算科学によるイノベーションの創出、国際的に活躍できる人材の育成、人材交流を目指す。
平成22年2月12日	NTT、NTT 東日本	情報通信分野における連携協力の更なる拡大、教育・研究活動の拡充、活性化、異分野融合型の研究開発の推進を目指す。
平成22年6月4日	住友金属鉱山（株）	非鉄金属素材に関する研究推進を図るため、さらなる共同研究、相互交流、人材育成の推進を目指す。
平成23年7月26日	東京海上日動火災保険（株）	地震・津波のリスク評価に関連して、研究開発、人材育成等相互協力が可能な事項について、連携・協力を推進する。
平成23年11月10日	仙台市・筑波大学	生活排水を吸収して石油成分を生産する藻類バイオマスの研究・開発を推進する。燃料生産モデルと新しい循環型システムの実現を目指す。
平成23年11月22日	日本アイ・ビー・エム（株）	巨大地震・津波のリスク評価・減災技術に関連して、研究開発、人材育成等相互協力が可能な事項について、連携・協力を推進する。
平成24年1月19日	情報通信研究機構（NICT）	災害により強い社会の構築に向けて、情報通信ネットワーク及びその利活用の耐災害性強化のための情報通信技術の研究を効果的かつ効率的に推進する。
平成24年10月16日	海洋研究開発機構（JAMSTEC）	共同研究・プロジェクトの推進、人材交流、人材育成、学術資料・リサーチレポート等学術情報の交換、施設・設備等の利用等について、連携・協力を推進する。
平成25年8月1日	(株)東芝	「ヘルスケアビックデータに関する研究開発」に関連する研究領域において、研究開発、人材育成等の相互協力が可能な事項について、連携・協力を実施する。
平成25年11月12日	物質・材料研究機構（NIMS）	物質・材料分野において、両機関で連携・協力して研究開発や研究設備の相互利用・共同運営、人材交流等を行い、我が国の学術及び科学技術の振興と、社会の発展に寄与することを目指す。
平成25年12月18日	国土交通省東北地方整備局	双方が長年にわたり培ってきた信頼関係を基盤に、防災機能の向上及び地域社会の持続的発展に寄与することを目的に連携・協力の推進・強化を図る。

社会との連携協力

サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン

サイエンスカフェとは、高校生など一般の方々と科学者が、コーヒーカップを片手にサイエンスについて気軽に話し合い、社会の広い範囲の方々にサイエンスの楽しさに触れてもらう場です。リベラルアーツサロンとは、文系の幅広い分野から、身近なテーマ・知識欲をかき立てるテーマを取り上げ、気軽に会話に興じるサロンの雰囲気です。

東北大学イノベーションフェア2014

開催日	内容	開催地
2014年1月28日	ものづくり、医療機器、アグリ、ナノテク・材料、環境、エネルギー、情報通信などの各分野における最先端の研究及び若手研究者による萌芽的研究の紹介とプレゼンテーション。震災復興関連特別展示も実施。	仙台国際センター



サイエンスカフェ

社会との連携協力

公開講座

区分	講座の名称	実施部局【講師派遣先高校】
部局主催	第48回東北大学教育指導者講座	教育学研究科
	地球環境計測学特論	環境科学研究科
	東北大学大学院法学研究科公開講座「租税判例の研究」	法学研究科
	第20回公開講座「国際文化基礎講座」アジア経済発展の功罪	国際文化研究科
みやぎ県民大学 大学開放講座	人間理解の方法論	文学研究科
	デザイン思考と事業創造	経済学研究科
	口の働きー食を楽しむためにー	歯学研究科
	私たちの食糧と健康と環境	農学研究科
	循環型社会の実現を目指して	環境科学研究科
	地球にやさしいエネルギーと環境・省エネルギー技術ー太陽電池・半導体・超伝導ー	金属材料研究所
	ながれ	流体科学研究所
	物質・材料研究への誘い	多元物質科学研究所
	東北アジアの人間と環境	東北アジア研究センター
	光を放つ半導体のおはなし	多元物質科学研究所
「学都仙台コンソーシアム」 サテライトキャンパス 公開講座	どんな社会に住みたいですか？(適正技術と社会関係資本)	環境科学研究科
	あなたの血管の「加齢」を考えましょう = 世界の中の日本人の血管	加齢医学研究所
	薬理学者から市民への伝言 パート3 薬物治療について	医学系研究科
	文明史観から「地球環境」を読み解くー映画を見て考える地球環境問題	工学研究科
	日本語教育は面白い	文学部
	ナノ空間にある水分子のふるまいー身近な物質の不思議を考えるー	理学部
	匠の手を目指してー触覚・触感に基づく QOL テクノロジーの創出ー	工学部
	鉄の不思議ーナノ・ミクロ組織の世界ー	工学部
	首刈と食人	文学部
	「発達」とは何か	教育学研究科
高校生のための公開講座	表現の自由をめぐる諸問題	法学部
	財政赤字問題について	経済学部
	制度設計と経済学	経済学部
	光で操るミクロの世界ー化学反応から細胞までー	理学研究科
	音を使ったエンジン、音で冷やすクーラー	工学部
	捕食性昆虫はどうやって自分の餌植物を探しているのか？	農学部
	経済データから見る格差問題	経済学部
	光を使って伝える・測る	工学部
	生物生産と生態系	農学部
	経済学入門：需要と供給の価格理論	経済学部
	深部がんや骨疾患の治療に貢献する医用材料	工学部
	動物はなぜ体に脂肪を貯めるのか？	農学部
	地学(天文学)の世界	理学研究科
	6億年の地球生命史	理学部
	文学部の学問・言語学を例として	文学部
	曲線と曲面の幾何学について	理学部
	環境に優しいバイオマスエネルギーについて	工学部
	東日本大震災をもたらし地震と津波の発生メカニズムについて	理学部
	宇宙の構造と進化	理学部
	私はなぜプラズマロケットを研究しているのか？ー大学で学ぶこと、理学と工学の違い	工学研究科
	天然資源と薬	薬学研究科
	大学で学ぶヨーロッパ史	文学部
	東北大学農学部概要紹介と発酵微生物の分子生物学研究	農学研究科
	ビッグバン以前を観る	理学部
	生体・環境に調和する柔らかくてバイオなマシンづくり	工学部
	脳科学研究について	医学部
	社会現象にも法則がある(ニュートンのりんごと経済学)	経済学部
	生命の豊かさの護り方	生命科学研究所
	民法の考え方について	法学部
	化学・バイオ工学科の教育カリキュラムと超臨界流体の研究開発事例	工学研究科
東北経済の歴史と現状ー3.11を踏まえてー	経済学部	
最先端構造材料モデリング	工学部	
大学とは？学問とは？野茂とイチローはどちらがえらいか？	理学部	
東北大学医学部保健学科の紹介	医学部	
再生医療ー歯の再生を目指してー	歯学部	
薬学における環境汚染物質研究	薬学部	
匠の手を目指してー触覚・触感に基づく QOL テクノロジーの創出ー	工学部	
農学研究科の魅力とフィールド研究の面白さ	農学部	
日本の地盤災害	災害科学国際研究所	
陶淵明の詩のことば	文学部	
表現の自由をめぐる諸問題	法学部	
経済成長と環境問題	経済学部	
音を使ったエンジン、音で冷やすクーラー	工学部	
プラズマ推進ロケットで宇宙を旅する	工学部	
医師の人生設計	医学部	
細胞内をものが動く仕組みーメラニンの輸送から日焼けまでのプロセスを探るー	理学部	
間違えだらけの学力向上ー今、教育はどこへ向かうのか？ー	教育学部	
政治学から見た震災後の課題	法学部	
最適性の科学	経済学部	
スマートマテリアルシステムの飛躍に向けて	工学部	
「快適でエコな建物」を創る建築環境工学	工学部	
分子レベルで薬をつくる	薬学部	
地球の歴史と生物圏進化	理学部	
農学部における有機化学研究ー昆虫フェロモンの化学合成を中心としてー	農学部	
建築・社会環境工学演習(グループD)	工学部	
公共政策入門		
からだの生物学		
東北の「みらい」を拓く新聞論		
英語で異文化コミュニケーションー国際共修ゼミー		
西洋近代史への誘い		
急成長する中国の科学技術と経済		
教育と科学技術		
言語としての手話入門		
日本の歴史と伝統文化ー国際共修ゼミー		
「ことば」の世界を探検してみませんか		
オーロラから探る宇宙環境		
コンピュータが創る世界		
高校生のための公開授業	東北大学全学教育	

特色ある研究・
教育・社会貢献活動